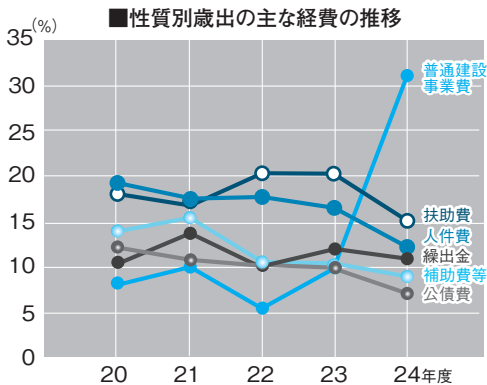


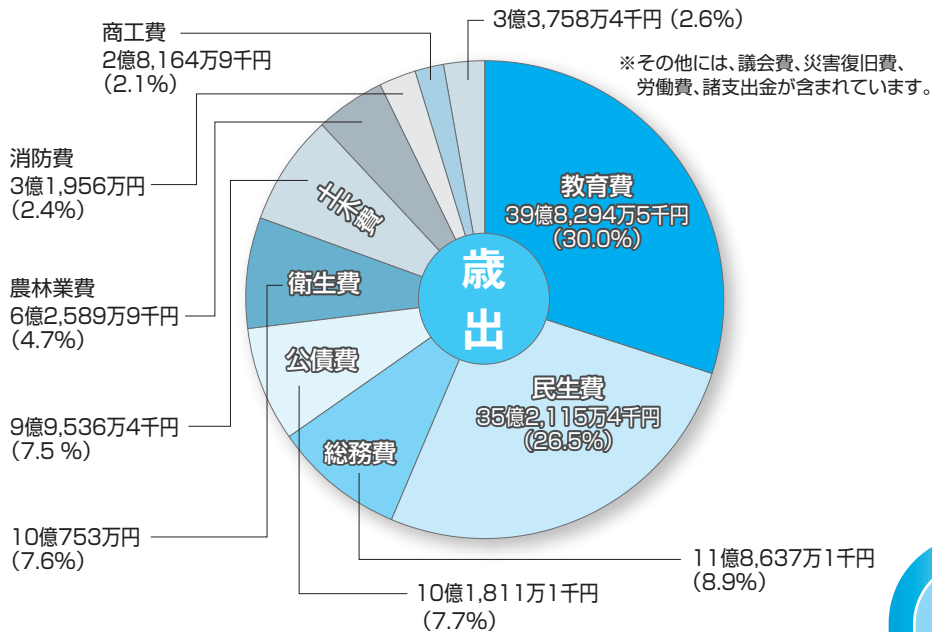


## ● 一般会計決算の状況 ●

平成24年度一般会計決算は、歳入総額135億9,309万6千円、歳出総額132億7,616万7千円で、歳入歳出差引額は3億1,692万9千円となり、翌年度へ繰り越すべき財源6,187万3千円を差し引いた実質収支は2億5,505万6千円の黒字となっています。



※平成24年度の普通建設事業費の構成比が大幅に増加した主な要因は、小中一貫校建設事業(3校)です。



# 市が使ったお金は132億7,616万7千円

# 歳出

平成24年度は、小中一貫校建設事業(3校)の増などにより全体で、29億8,185万7千円の増となりました。

## 公営企業会計

### ＝ 水道事業会計 ＝

平成24年度は、水道料金収入の減少で収益は減となりましたが、委託料や企業債利息の減少で経費が抑えられたため、収益的収支は1,708万4千円の利益が生じました。

また、県道武雄多久線配水管布設、新井上配水地整備等により資本的収支が増となりました。



収益的	収入	5億7,807万4千円
	支出	5億6,099万円
資本的	収入	1億2,465万円
	支出	3億682万7千円

### ＝ 病院事業会計 ＝

平成24年度は、医師2人の正職員化に伴い、患者数も増加し、入院収益、外来収益の増により、収益的収支は、4,197万2千円の純利益が生じました。

また、電気メス購入や外来管理棟空調工事を行いました。また、資本的支出・収入ともに減少しました。



収益的	収入	15億6,834万7千円
	支出	15億2,637万5千円
資本的	収入	1,303万円
	支出	2,606万1千円

※資本的支出が資本的収入に対して不足する額については、留保資金で補てんしました。

## 特別会計

特別会計とは、地方公共団体が特定目的の事業を行う場合に、特定の歳入で特定の歳出にあて、一般会計と区分して経理しているものです。

区分	歳入	歳出	差引額
土地区画整理	7億8,179万6千円	7億1,956万5千円	6,223万1千円
公共下水道	6億8,275万3千円	6億6,211万7千円	2,063万6千円
農業集落排水	7,934万6千円	7,934万6千円	0円
国民健康保険	29億3,613万2千円	28億9,703万5千円	3,909万7千円
後期高齢医療	2億4,076万円	2億4,054万9千円	21万1千円